

龍 灯

第 8 号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 霊 亀 山 九 島 禪 院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

老年もまた楽しい

高齢者アイドル登場

きんちゃんきんちゃん

「きんは百歳、きんも百歳」と言えば、この年末年始、ブラウン管に登場し、あっという間に「双子のおばあちゃん」です。目も耳もお達者で、屈託のない笑いがテレビCMに異彩を放っています。まさに超長寿社会のめでたさを語るお二人でしょう。

各宗派の平均死亡年齢は黄檗宗が七十四・二歳でトップ、二位が曹洞宗の七十三・四歳、三位が臨済宗の七十二・三歳と禅宗三派が上位三位までを占めたと発表されています。

明治時代にかけて最も長生きした階層は僧侶で、特に禅宗の僧侶が最も長命であったと、福島県立医大、森一教授が報告されています。

ある精が一人の子供に一つの糸を引く。これをとるがよい。時間がお前のために流れてほしい。と思う時には、糸を引く張るのだ。糸を引くを早くたぐるか永くかかかってたぐるかによつて、お前の一生の日々は急速にも緩慢にも過ぎていくだろう。糸に手を触れない限りは、お前は生涯の同じ時刻にとどまっているだろう。子供はその糸を取つた。そして、大人になるために、それから愛する婚約者と結婚するために、それから子供たちが大きくなるのを見たり、

歴史辞典、仏教辞典などから著名な公卿・武士・僧侶の死亡年齢を調べた結果、各階層の平均死亡年齢は僧侶は六十八・六歳でトップで、ついで武士の家臣(六十四・七歳)▽公卿(五十八・八歳)▽藩主(四十八・三歳)の順であったそうです。

この糸はお前の一生の日々の糸だ。これをとるがよい。時間がお前のために流れてほしい。と思う時には、糸を引く張るのだ。糸を引くを早くたぐるか永くかかかってたぐるかによつて、お前の一生の日々は急速にも緩慢にも過ぎていくだろう。糸に手を触れない限りは、お前は生涯の同じ時刻にとどまっているだろう。子供はその糸を取つた。そして、大人になるために、それから愛する婚約者と結婚するために、それから子供たちが大きくなるのを見たり、



職や利得や名誉を手に入れたり心配事から早く開放されたり、悲しみや、年齢とともにやってくる病気を避けたりするために、そして、最後、悲しいかな、厄介な老年にとどめをさす為、糸を引く張つた。その結果は、子供が精の訪れを受けて以来、四か月と六日しか生きていかなかったという。

長い引用になりましたが、人生というものを、本当に生きるに値する日々を計算すれば、四か月と六日、すなわち百二十六日しかない。・・・というわけなのです。

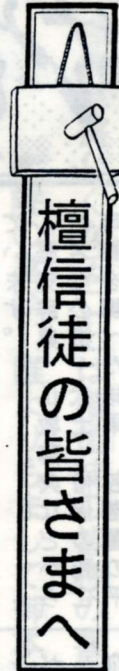
この寓話は、絶えず現実を否定しながら生きている私たちに日々を大切に、毎日毎日を精一杯生きる大事さを語っているのではないのでしょうか。

禅語に「日々是好日(にちにちこれこうにち)」があります

中国唐代の禅僧 雲門文偃禅師の言葉です。今日という日を有意義に、精一杯楽しく生きることこそ、人生を豊かにするのです。

そういえば、百歳の双子姉妹のきんさん・ぎんさんもCD歌手として、近くレコードデビューするそうです。

レコードは明るい童謡風のメロディーにのせ、子供が二人のおばあちゃんに語りかけるものだそうで、最後の台詞(せ



○ 当院総代 (世話人) 補充

平成三年七月二十三日付けで左表に掲げた三氏を新たに当院の総代 (世話人) にお願いたしました。ご苦勞をお掛けしますが宜しく願います。宗教法人「九島院」の寺院規則により、檀信徒の内から住職が選任いたしました

○ 今秋よりの寺での法事

客殿 (檀信徒会館) 建設・及び境内整備工事は、今夏の水燈会 (八月十九日) のお施餓鬼法要 (庫裡) の解体工事を始める予定です。工事期間中 (九月一日) 翌五年四月末日) は本堂での法事などご不便をおかけすると思いますが、何卒ご理解下さいますようお願いいたします。

役名	氏名	住所
総代	木村仁志	西淀川区野里一―三―一八
総代	梶山清三	西区九条南四―二五―一九
総代	稲穂幹彦	高槻市城南町四―四―一一

りふ) が、「百まで生きていて良かったわ」と、ほほえましく締めくくっています。日々是好日とお元気に生きておられるお二人が、健やかに長生きされ、「うれいようなかなしいような」ご長寿でしようが、さらに長生きされることをお祈りします。

なんでも質問箱

(問い) 戒名は生前つけてよいのですか。

(答え) 仏法僧の

三宝に帰依し、

仏の戒法受けた

者に名付けられるものが戒名であり、本来は生前につけられたものです。従って死後に与えられるのは一種の方便といえましょう。禅宗では授戒会 (じゅかいえ) を行い、そこで修行して戒名を授けていただくという儀式がありますがこれが本来のありかたです。ですから、自分を導いて下さる師僧、一般には菩提寺の住職や住職を通じていただくことになり

ます。自分で勝手につけたりするのは誤りで、自分ひとりで行った戒名は、いわばペンネームのようなものだと思えて下さい

戒名は、三帰戒 (仏・法・僧の三宝に帰依すること) を誓い、

仏教の戒律を守ることを誓う

三帰五戒 (仏・法・僧に帰依し

不殺生戒・不偷盜戒・不邪淫戒

・不妄語戒・不飲酒戒を守る)

三聚淨戒、十重禁戒・円頓戒などの戒を守って、仏法に従っていく事を誓うなど、戒名を受けること

で、仏教徒としての自覚と誇りをもって、日常生活をしていくことに意義があるのです

尚、生前に戒名を受けることを逆修または預修といい、墓に刻んで朱色で埋め、死後はその朱をとりのぞきます。

すでにお知らせのように、本年十一月四日〜八日にかけて、大本山万福寺で宗祖御生誕四百年慶讃法要にあわせてお授戒が厳修されます。一日授戒・半日授戒・代戒・亡者戒などが行われます。この機会に是非お授戒されることをお勧めします。詳しくは、お問い合わせ下さい。

編集後記

▼いよいよ檀信徒会館の建設に取りかかります。一大事業です。小生の住職就任以来の夢でした。夢を実現するためにも、是非ともご協力の程をお願い

境内が美しくなることは檀信徒の皆様喜びであり、

寺院の喜び、誰よりもまして御本尊様の喜びです。

します。
▼早々と数名の方から多額のご寄附を頂きました。誠に有り難いことです。パブルがはじけ、景気も停滞しつつある昨今ですが、これらの方々のご厚意を無駄にしないよう、精進する決意です。

▼同封の趣意書に記載のように、募財は六千万円という多額を要します。一口でも多くご寄附賜りますよう、また皆様方のご兄弟をはじめご親族の方々にも、金額の多寡にかかわらず、ご寄附して頂けるよう、お口ぞえ賜れば有り難いと存じます。是非、ご先祖のため、仏縁を結ばれ、功德をお積みください。宜しく願います。

● 雨の日には雨の中を

『雨の日には雨の中を 風の日には風の中を』

これは、相田みつを という足利市に住む書家の言葉です。碧巖録（へきがんろく）という禅の書物にでてくる『日々是好日（にちにちこれこうにち）』という言葉（禅語）を、相田さんは、下の写真のように表現しましたなんと人間的で見る人の心を打つ文字でしょう。そして見れば見るほど、相田さんの温かみが伝わってきます。

拙院ガレージ入口の掲示板に、掲示伝道を始めたのが昭和59年6月6日からですから、かれこれ7年になります。あの掲示板は先代弘忠和尚が、小生のために作ってくれたものです。掲示文を書くにあたって、師事している吉田雨耕先生に、手本を書いてもらいましたが、うまく書けません。その時出会った本が、上述の『雨の日には雨の中を 風の日には風の中を』という相田さんの本でした。

同書に『そのままがいいがな』という作品がありますうまく見せようとか、格好よく見せようとかせず、あるがままの自分をさらけ出した相田さんの書に出会ったのです。「これから、掲示伝道を始めるのに、いちいち先生の手本に頼っては、長続きしない。どうころんでも、自分の顔。へたはへたなりに精一杯書けば、いいのじゃないか」と思い至ったのです。そう考えると気がラクになり、なんとか、まがりなりにも今日まで続けることができたのだと思います。

その相田みつをさんが昨年末に亡くなられました。六十七歳でした。相田さんは足利市の旧制中学を卒業後、曹洞宗高福寺武井哲応老師に在家のまま師事し、仏法を学ばれました。著書『にんげんだもの』は60万部のベストセラーになっています。

笑福亭鶴瓶・田淵節也・野村証券相談役など座右の書としている方は多く、小生も相田さんの著書に多くの薫陶を受けました。ご冥福をお祈りしています。

雨の日には
雨の中を
風の日には
風の中を
みつを